

OISA NEWS

OITA
INFORMATION
SERVICE INDUSTRY
ASSOCIATION

2008. 4

45

発行：大分県情報サービス産業協会
会長 森 秀文
<http://www.oisa.jp>
編集：広報委員会
事務局：大分市城崎町2-6-31
(大銀コンピュータサービス(株)内)
TEL (097) 537-5918
FAX (097) 534-4545
印刷：佐伯印刷株式会社

大分県情報サービス産業協会



CONTENTS

2008年新年例会	2
2008年特別講演会	3
平成19年度「技術研究会」発表会開催	4
平成19年度第2回視察研修旅行	5
第16回サウンズコンテスト	
ON THE COMPUTER 開催	6
フレッシュさん紹介	8

岡城桜の頃

2008年 新年例会開催

OISA 20周年に向けて



森会長

平成20年の新年例会が、1月23日トキハ会館にて来賓並びに会員企業の多数出席のなか、盛大に開催されました。

まず最初に森会長より新年の挨拶がありました。会長より、改めて関係機関、関係団体へのご協力、ご支援のお願いの後、大分県内の経済情勢を報告いただきました。また、サブプライムローン問題を取り上げ、先行き不安材料もありながらも業界動向を予測し、『景気は気から』と言う元気な言葉をいただき、前向きに取り組んでゆく姿勢を熱く語っていただきました。

さらに、当協会が20周年を迎えるにあたり、記念行事委員会を立ち上げ、これからの協会を導くべく三つの目標を掲げ、協会会員とともに活動を進めて行く事を強く表明されました。

会長挨拶の後、特別講演会にて大分フットボールクラブ、溝畑社長よりエネルギーな講演をいただき、その後、新年祝賀会を阪田副会長乾杯御発声のもと、開催いたしました。来賓の方々及び会員含め65名の参加をいただき、最後に大分大学工学部宇津宮教授の、万歳三唱御発声にて盛大に終了いたしました。



阪田副会長



大分県商工労働部 首藤参事



大分大学工学部 宇津宮教授

おかげさまで20周年

ネットワーク社会を生きる 企業のベストパートナー

大分銀行グループ
大銀コンピュータサービス株式会社
大分市城崎町2-6-31
TEL.097-537-5918 FAX.097-534-4545

2008年 特別講演会

テーマ：「ゼロからの夢の実現に向かって」
 日時：平成20年1月23日 16:00～17:30
 場所：トキハ会館
 講師：大分フットボールクラブ
 代表取締役 溝畑 宏 氏

みなさん、こんにちは。ご紹介にありましたとおり、現在私は大分トリニータの社長をやっております。今、新聞紙上などで選手の獲得状況などが報道されていますが、今回J1 8チームで家長選手の争奪戦となりました。条件提示ではビッグクラブの方が良い条件を出しました。ただ、我々の情熱と夢と志というところで、結果的に彼がトリニータを選びました。私はよく言うのですが、「東京・大阪で天下を取ることは容易い。しかし人口の少ないところから天下を取るとは困難を極める。しかし、大きな試練があればあるほど夢を実現した時の喜びは計り知れないものがあるし、それによって今の日本の東京・大阪一極集中の流れを変えることができる。」と。

大分トリニータ発足の経緯

今日みなさんに大分トリニータが、どういうプロセスを経て発足したかということについて簡単にご説明します。まずこのチームを作った理由は大きく分けて三つあります。一つ目は4万のスタジアムの利活用という面からの必要性です。二つ目は、ふるさと意識を高めるためです。福岡にダイエーホークスが誕生した時、福岡がものすごく元気になるしました。大分にこういうプロチームを作ったら、「大分の人たちがもっと大分を好きになるのではないかと」と。三つ目は「絶対無理」という論調が強かったことによる反発感です。そこで私は『絶対失敗する』と言われる事が、もしうまくいったら、みんなの意識が変わるのではないかと。逆転の発想でした。

大分トリニータの理念

大分トリニータの理念を紹介します。一つ目はスポーツを通じた地域貢献。単にスポーツの強い弱いではなくて、みんなに誇りと勇気を与え、地域に愛されるクラブになりたい。二つ目が世界に通用するクラブ。大分という地から世界を目指し、世界の舞台に行ける。そのモデルケースになりたい。三つ目は、夢は必ず叶う。ゼロからでもみんなが努力して結束すれば小さい都市でも頑張れる。この三つを理念に産声を上げました。

大分トリニータとの歩み

94年が県リーグ、95年が九州リーグ、96年には史上最短でJFLに昇格。しかし、97年は成績不振。なおかつ、スポンサー問題で収入激減。結局、関係者の中で身銭を切るしかないという事態に発展し、ありとあらゆる手を使って凌ぎました。しかし97年12月に天皇杯で大学に負けた時に、私に対する不平不満が爆発し、スタジアムに「溝畑辞めろ、東京帰れ」との批判があがりました。その日、家に帰り「なんのためにやるのか」という事を確認するために理念を読みかえました。そして名刺入れを開くと、お世話になった人の顔が浮かびます。苦しくなってくると批判ばかりが見えてしまって、味方がいるという意識が弱まってしまいます。それで「もういっぺん勝負しろ！」と思った矢先、人生とは皮肉なもので、10日後、父親が脳梗塞で倒れました。

母親は看病につきっきり。妻とも次の年のニューヨーク転勤と共に離婚。そんな中、「俺はこれに勝負をかけた

ろ！」という思いから、98年、みんなの反対を押し切りブラジルから監督と選手を連れてきました。チームに「勝つ」という活力を呼び起こす。リーダーが「やったるぞ」とほら貝を吹くと、選手も頑張ってくれます。その年チームは6位まで上がりました。99年からJ2に参入しました。98年99年とJ2に入って、J1への戦いが始まりました。そのあとは3年連続最終戦でJ1に上がりませんでした。2002年にこれが最後の勝負と自分でも思って、ワールドカップ開催の年に勝負をかけ、苦節8年半でJ1に上がることができました。その次の年にはお客さんがついに3万人になりました。2003年は残留争いに苦しみ、最終戦でなんとかJ1に残りました。2004年はなんとか13位まで上がることはできましたが、2005年はスポンサー問題で、予定していた収入が一気になくなり財政難。その時も、家に帰って名刺を見ました。そしてサポーターのみんなの顔が浮かびました。「こういう厳しい時に逃げたらあかん。誰も社長やらんのやったら俺がやろう。」と、県庁を辞めて社長になりました。苦しい状況をなんとか凌ぎ凌ぎ、それでも本当にしんどくなったときに助けてもらったのがマルハンの会長でした。そうやって経営のひとつ柱ができました。2005年は11位、2006年は8位、2007年は残念ながら序盤つまずいて14位という結果になりました。

大分からのチャレンジ

地方のクラブが関東・関西のビッグクラブに勝つというのは、大変な事です。FC東京とか浦和レッズに勝った時に子供たちが「東京のチームに勝ったね」と。大分の子供が「東京に勝った」。あの言葉の中に将来の大分を見るような気がしております。大分トリニータというのはサッカーが強い弱いということではなくて、子供からお年寄りの方までが応援する事で、自分たちの組織・学校・家庭の中で夢を持って、大分という地から日本を世界を目指す、そういう風土作りに役立つことがこのクラブの使命だと思っています。私はお金があるから強いということではないと思っています。そこに必要なのは、チームとしての夢・志・理念・一体感。この一体感を持つために、常にフロント・監督・コーチ・選手・社員が同じ方向を向く必要があります。ここさえ間違わなければ、私は十分に戦えると思っています。

今日ここにお見えのみなさんは、トリニータについてこの十何年間、大変お世話になった方ばかりです。こうやって話ができるのも、みなさんのご協力のおかげだと感謝いたしております。こういうゼロからでも頑張ればJ1という舞台に立って、もしかすると上位争いに行ける、ということまで成長してきている事を、みなさんご認識いただくことで、今度はみなさんの組織で夢を持ってゼロからでもチャレンジしていただきたいと思います。これからも、私はトリニータ、そして大分のために精一杯頑張りますので、ご指導ご鞭撻よろしく申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

(総務委員会)



平成19年度「技術研究会」発表会開催

日時：平成20年2月19日（火） 14：30～17：15

場所：ソフィアホール（大分第2ソフィアプラザビル）

技術委員会が主催する平成19年度「技術研究会」発表会が2月19日に開催されました。

この研究会は、毎年会員各社の中堅及び若手の技術者が集まってソフトウェアの技術研究を共同で行うもので、今回で第11回目となりました。

今年度はJavaとWeb2.0の2つの研究部会を設けて募集を行ったところ、大分大学大学院生の参加を含め24名と多数の参加者を得たため3部会に分かれ、各部会ごとに具体的なテーマを決めて実際の研究活動を行ってきました。

発表会ではまず、阪田副会長からの開会挨拶の後、昨年に引き続き産学連携をより深める取組みとして、大分大学より新たな「研究シーズ」を紹介していただきました。

今回の大分大学研究シーズ発表の内容は以下の2件でした。

1. 機械学習の理論と実際：末田教授
- 強化学習・SOM・決定木学習などの応用例 -
2. 映像中の動物体抽出に関する研究：行天講師
- 隣り合う画素の関係を用いて画像や映像を解析する -

SOM（自己組織化マップ）の医療分野への応用や、背景差分法に動き予測を取り入れた動物体抽出手法など、実用的な技術シーズの説明に、出席者の皆さんは熱心に聞き入っていました。

続いて各部会のメンバーから、昨年7月から半年余りかけて行った研究の成果発表が行われました。

今回の各部会の研究テーマと発表の内容は以下のとおりでした。

Java第1部会

テーマ「AOP(Aspect Oriented Programming)について」

内容：AOP機能を備えたフレームワークの比較評価と開発業務へのAOP適用に関する考察。

Java第2部会

テーマ「生産性向上の検証 ～部品の再利用性～」

内容：Seasar2（DIコンテナ）の利用による開発生産性と品質の向上の検証。

Web2.0部会

テーマ「Web2.0サービスを用いたビジネスモデルの提案」

内容：Web2.0の動向とビジネス化の観点からの考察。

発表内容には開発業務に対する日頃の問題意識やビジネス展開に関する考察などを含み、各部会とも単なる技術研究にとどまらない意欲的なものでした。また、質疑応答も活発に行われました。

最後に、三宮委員長より講評とお礼を申し上げ、各部会の代表者に対して研究活動の労をねぎらいました。

（技術委員会）



なお、各部会の発表資料は当協会のホームページで公開しております。



学校法人 電子開発学園九州

KCS大分情報専門学校
北海道情報大学 大分教育センター

IT+経営

経営情報〔大学併修科：4年〕
北海道情報大学 経営情報学

IT+医療

医療情報技術〔医療情報学科：3年〕

IT+システム

情報システムライセンス〔情報マルチメディア専門科：3年〕
情報システム〔情報マルチメディア科：2年〕

IT+ゲーム

ゲーム・CGクリエイター〔情報マルチメディア専門科：3年〕
ゲーム・CG〔情報マルチメディア科：2年〕

IT+ビジネス・医療事務

情報ビジネス〔ビジネスパソコン科：2年〕
医療事務〔ビジネスパソコン科：2年〕

クリック

〒870-0037 大分市東春日町17-19
TEL (097) 537-3911 FAX (097) 532-7939

KCS 大分

検索

平成 19 年度 第 2 回視察研修旅行

平成19年度第2回視察研修旅行を無事に終えることができましたので、OISA会員の皆様にご報告致します。

日 程：平成20年2月8日（金）
参 加：14社19名

【視察先】

1. 日産自動車 九州工場（福岡県京都郡苅田町）
1975年に九州初の自動車メーカーとして生産を開始し、日産最大の生産能力を持っています。車体・塗装・組立の各工程を視察しました。
2. キューピー 鳥栖工場（佐賀県鳥栖市）
1919年（大正8年）の創業で、食品業の先端を走っている企業です。日本で初めてのマヨネーズやオレンジママレードなどを世に送り出しており、現在では以下の4事業が中心となっています。
 - ・ タマゴ事業
 - ・ 調味料・加工食品事業
 - ・ 健康機能事業
 - ・ サラダ・惣菜事業
 マヨネーズと流動食の製造ラインを中心に説明をいただきました。
(企画委員会)



工場内見学（日産自動車 九州工場）



事業説明会（キューピー 鳥栖工場）



集合写真（日産自動車 九州工場）

視察旅行参加者感想

「日産自動車(株)九州工場を視察して」

日産自動車では車を大量生産し販売するのではなく、お客様からの注文に基づいて生産し短い納期でお届けする「同期生産」方式で行われていました。

生産工程はすべてコンピュータ制御され、何種類もの車が混在して製造ラインに並んでいても部品等間違えることなく造られていました。また、人が作業する工程では現場からの意見を聴き、働きやすい環境づくりに努められてきており、実際に作業をする人の目線で物事を考えることこそが効率化に繋がるのだということを深く感じました。

(大銀コンピュータサービス株式会社)
生野 真由美

♪ 第16回サウンズコンテスト ON THE COMPUTER 開催♪

日時：平成20年1月26日（土）13：30～16：30 会場：大分市オアシス広場21 アトリウムプラザ



森会長挨拶

第16回を迎えたサウンズコンテストOnTheComputerは、1月26日（土）に大分市のオアシス広場21アトリウムプラザ（1F広場）で開催されました。

北海道から沖縄まで、日本全国からの応募曲は75曲、その中から予備審査を通過した17曲で本審査を行いました。例年に増して大変レベルの高い中での激戦となりました。その厳しい競争を勝ち抜き、みごとグランプリに輝いたのは、沖縄出身で神奈川の大学生、仲宗根康智さんの作品“night walk”、題名の通り、夜道を歩いているようなちょっと不思議な感覚の音づくりに、若者らしい叙情性のマッチしたユニークな作品でした。また今回も、大分フットボールクラブ殿の後援による「トリニータ応援歌部門」を実施しまして、こちらも大変盛況でした。当部門の最優秀賞は日出町の安部由美さんの曲で、昨年度惜しくも次点の優秀賞だった悔しさを吹き飛ばす抜群のできばえでした。この曲はアレンジ等に若干の手を加え、大分在住の双子デュオ「Copy Jam」に唄を入れて貰ったバージョンを製作して3月23日（ナビスコカップ・対新潟戦）の試合前、大分フットボールクラブ殿に贈呈しました。

向こう一年、九州石油ドームでのトリニータの試合にBGMとして使われることになっています。

観戦に行かれた方は、試合前に流される音楽にも是非ご注目ください。

今回は審査待ちの間、シンセサイザー奏者、深田宏一氏によるライブ、及び電子楽器による作曲法のクリニックを行い、大変好評でした。たとえ深田さんのように楽器をバリバリ弾きこなせなくても、パソコンのキーを叩いていれば自分の思い通りの曲が形に、音になっていくコンピュータ・ミュージックの面白さも皆さん再確認できたのではないのでしょうか？

今回、初めての試みであるオープンスペースでの開催となりましたが、足を止めて聴いてくださるお客様も多く、このコンテストの将来方向が見えてきた気がしています。応募曲の編集、会場設営等で大変ご苦勞をおかけした日本文理大学関係者、また、今回も多くの賞品提供をいただきました各社にも、紙面を借りて厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

（イベント委員会）

審査委員

	氏名	備考
審査委員長	田村 洋彦	大分大学教授（音楽科）・九州作曲家協会会長
審査委員	森 秀文	大分県情報サービス産業協会会長（(株)オーイーシー）
審査委員	久保田栄子	大分サウンズクリエイター協会 事務局長
審査委員	佐藤 和彦	株式会社 四次元ポケット 代表
審査委員	是永 香織	大分県情報サービス産業協会会員（デジタルバンク（株））

第16回サウンズコンテストの受賞者 応募数： 62名、75曲 来場者：約 75名

賞	氏名	年齢	地区	タイトル
グランプリ	仲宗根康智	21	沖縄県	night walk
フリー曲部門 1位	岡崎 温子	21	大分市	炎（ほむら）
フリー曲部門 2位	森下 智隆	22	神奈川県	Light&Darkness
フリー曲部門 3位	篤永 猛彦	32	北海道	大海の一滴
トリニータ応援歌部門 最優秀賞	安部 由美	45	日出町	栄光のトリニータ
優秀賞	亀石 和人	34	大分市	id ~ Theme of TRINITA ~
審査員特別賞	濱田 恵太	22	大分市	Funai pacchin ~ The Prayer Of Global Peace ~



グランプリの仲宗根康智さん



最優秀賞作品の贈呈式は、平成20年3月23日（日）に九州石油ドームにおいて、ナビスコカップの試合前にマスコミ各社とサポーターが見守る中、大分フットボールクラブ殿に贈呈されました。（写真左から、（株）大分フットボールクラブ溝畑社長、小野理事、最優秀賞の安部由美さん）

IVY総合技術工学院の教育目標は社会で実践できる資格の取得

実践主義のスペシャリスト養成教育！

高度情報処理科

情報処理科

総合ビジネス学科

インターネット学科

ビジュアルデザイン学科

デザインCAD学科

医療ビジネス学科

公務員ビジネス学科

アイビー 学校法人 善広学園・経済産業省委嘱校・総務省認定校

IVY 総合技術工学院

〒870-0037 大分市東春日町51番3(ソフトパーク内) TEL 097-537-2471(代)
URL <http://www.ivy.ac.jp> E-mail ivy@ivy.ac.jp

フレッシュさん紹介 よろしくお願いたします。

九州東芝エンジニアリング(株)
第3システム部
梶田 健作
趣味：掃除
好きな言葉：整理整頓



(株)インフォセンス
大分SI部
堤 知美
趣味：映画鑑賞
好きな言葉：一言芳恩



会社名：(株)システムトレンド
ソリューションシステム部
松木 秀憲
趣味：雑貨屋巡り
好きな言葉：有為転変



入社して早一年、去年の今頃は戸惑いながら仕事をしていたことを思い出します。

今年度の新人も入社し、自分も先輩として頑張らなければならない日々です。

現在は鉄鋼関係のソフトウェア開発の業務に携わっているのですが、多くの知識や経験を必要とされる業務のため、日々勉強の毎日です。

仕事のしやすい職場環境と暖かくアドバイスしてくださる先輩方にはとても感謝しています。

今後も様々な仕事の経験を積み重ねていくことで、早く一人前になり、先輩方のように後輩にアドバイスができるようになることともに、初心を忘れずに頑張っていきたいと思っています。

昨年新入社員として入社しました。そしてこの春【新人】を卒業しようとしています。入社してからは自分にとってとにかく新しいことの毎日でした。初めての就職、初めての一人暮らしなど様々な初めてがあり、とても充実した一年間でした。

最初は色々不安でしたが、現場でしっかりと教育をしていただいた先輩方のおかげで今の私があると思っています。

今年新たに新入社員が配属され、私にも後輩ができます。後輩には、自分が一年間与えてもらった以上のことを与えていきたいと思っています。そして、目標としている先輩に近づけるよう日々努力していきます。

皆様はじめまして。

平成19年4月に入社いたしました。

昨年度は、「業界のトレンドを知る」ことを主眼に、OISAの研修に参加させていただき、情処試験(SW)の受験、OJTと、充実した学びの年となりました。

今年度からは、「お客様の信頼を勝ち得る仕事力」「お客様のお客様にまでご満足いただける製品を提供する開発力」を習得・向上したいと考えております。

また、昨年度は上司・先輩に習うばかりでしたので、今年度からは、新入社した方に学んだことを伝えるとともに、社内・地域内の方と交流を深めたいと願っております。

お目にかかる機会に恵まれましたら、皆様のご指導を賜りたくお願い申し上げます。

OISAニュース原稿募集のご案内

テーマ『私の趣味』と題して趣味、特技等を題材に身近な話題を募集しています。

申込先*OISA広報委員会事務局 大銀コンピュータサービス(株)田崎貴裕
TEL 097-537-4531 FAX 097-534-4545
Mail dcsttasa@oct-net.ne.jp

ドコモから4月1日スタート!!

FOMAでファミ割★50にご加入の場合

家族への国内通話*
24時間無料

ご注意事項

【適用条件】●「ファミ割MAX50」[契約期間2年単位で自動更新、解約金9,975円(税込)]または「ファミリー割引」+「ハーティ割引」のご加入が必要です。●継続利用期間10年超の方は、「ファミリー割引」+「(新)いちねん割引」[契約期間1年単位で自動更新、解約金3,150円(税込)]で適用となります。

*【対象通信】●家族内(同一「ファミリー割引」グループに登録されたFOMAまたはmova契約回線)への国内通話発信が無料対象(国内テレビ電話通信料は60%OFF)。国際通話(海外でのご利用を含む)・プッシュトーク・デュアルネットワークサービスご利用時を含むmovax発信等は対象外です。

【適用開始月】●「ファミリー割引」を新規お申込みの場合(「ファミ割MAX50」と同時にお申込みの場合も含む)、翌月からの適用となります。

詳細は、店頭またはドコモのホームページでご確認ください。

お客様のライフプランにあった最適料金プランをご提案
無料料金診断受付中!

ドコモショップ
金池店
0120-68-0889 営業時間:月~土/10:00~19:00 日・祝/10:00~17:00
大分市金池町1-4-1

ドコモショップくすのき港店
0120-63-6323 営業時間:月~土/10:00~19:00 日・祝/10:00~17:00
別府市浜町3-25

ドコモショップ
高城店
0120-18-6868 営業時間:月~土/10:00~19:00 日・祝/10:00~17:00
大分市日吉町1-34 (NTT大分日吉ビル1F)

ドコモショップ杵築店
0120-85-1052 営業時間:月~土/10:00~19:00 日・祝/10:00~17:00
杵築市大字杵築字北浜

ドコモショップ竹田店
0120-58-7720 営業時間:月~土/10:00~19:00 日・祝/10:00~19:00
竹田市大字拜田原字山下251

★サービス・料金の詳細は、店頭またはドコモのホームページでご確認ください。★